



愛川ふれあいの村 今月の風景

## 2019年6月 自然のたより

7日からの梅雨入りで雨が多くなり、生き物の気配がしなくなった村。それでも葉の裏には小さな虫が、雨間には蝶や鳥が飛び交います。南から徐々に生息域を広げているリュウキュウサンショウクイは、ほぼ毎日村で見ることができます。ホトトギスも管理棟周辺でしきりに鳴いていました。昔はいない生き物も今では見ることができる、なんてこともあるかもしれません。過去の記憶をたよりに村を訪れてみてはいかがでしょうか。（石川）



サイハイラン



ミヤコグサ



アオバセセリ



アカショウマ



材双が子の団子づくり



ウツボグサ



ホトトギス



サヤゴケ



リュウキュウサンショウクイ



ヤマボウシ



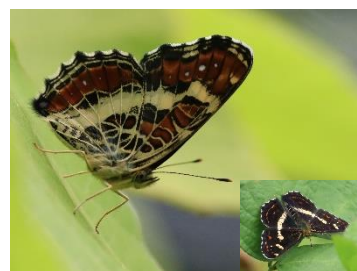
ミドリヒョウモン



ホタルブクロ



アカスジキンカメムシ



サカハチチョウ



アオダイショウ



## トピックス ★梅雨★

今年も例年通り、関東地方の梅雨入りが発表されました。梅雨は北から来る冷たい空気のおホーツク海気団と南からやって来る小笠原気団がぶつかることによって発生する停滞前線（梅雨前線）の影響で長雨が続くものです。

全国的にみると、どうやら今年の梅雨は例年と少し様子が異なるようです。近畿、四国、北九州などの西日本地域では、6月中旬を過ぎても梅雨入りが発表されず、梅雨入りしたはずの関東地方でもまとまった雨が降る日が少なくなっています。梅雨明けは発表されずとも、晴れ間の続く日が今年はいつものより多いような気がします。また、沖縄では梅雨明けが遅れそうという予報まで出ています。どうやら偏西風の吹いている場所が関係しているようです。

さて、梅に雨と書いて「つゆ」と呼ばれるこの言葉は、「ばいう」という呼び名で中国から日本に伝わってきました。元々は、じめじめとしカビが生えやすい時期ということから「霪雨」とカビという字が当てられていました。カビの雨と聞くとあまり良い感じがしないからか、同じ読み名の梅という漢字が使われるようになったと言われています。

そして、江戸時代には「つゆ」と呼ばれるようになり、「露」という字や梅の実が熟す時期を表す「漬ゆ」という言葉から連想されたのでしょうか。

ものの仕組みや名前の由来を調べてみると新しいことが見えて来ます。普段何気なく使っている言葉にもたくさん意味が含まれているのですね。

(佐々木)



## 生き物 ★意外な進化★

紫陽花が見頃の季節、カタツムリやナメクジが顔を出し始めます。殻の有無以外は非常に良く似ています。この2種は進化の過程で分化したのです。実はカタツムリから進化したのがナメクジなのです。進化の過程で殻を必要としなくなったとされています。周囲の環境や外敵から身を守るための殻は建物のコンクリートなどに含まれるカルシウムから形成されており、周囲にカルシウムがない環境に適応する為にナメクジになったそうです。似ている生き物には意外な関係性があるかもしれませんね。(鎌形)



## 旬 ★大薬王樹～ビワ～★

今が旬のビワですが、果実はビタミン・ミネラル・ポリフェノールが含まれていて栄養満点！生活習慣病などにも効果があります。ビワのすごいところは、植物全体が活用でき、葉は煎じて飲めば風邪予防に効果があり、材は乾燥させると固くなり、昔から高級杖や木刀に使われてきました。上から下まで余すことなく使えるビワは、大薬王樹（だいやくおうじゆ）の名で呼ばれ、昔の人々の生活を支えていました。

実や葉には清涼効果もあるため夏にピッタリの植物です。日ごろの生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。(清水)



暑い日差しを避けて、大きなケヤキの木陰に入り一息つき、熱中症の予防のため、一杯の水を飲むと心も落ちつく。ケヤキは、意外に大きな影を作っていてまるで別天地のように涼しい。樹上を見ると燦々と降り注ぐ夏の暑い日差しを沢山の葉で遮断し、涼しい風に変えてくれている。

人間がケヤキのことを忘れていても、ケヤキは暑い夏は木陰を作り、寒い冬は葉を落とし日溜りを作ってくれ、役立っている。こんなことを考えながらケヤキの木に感謝していると、どこからともなく甘いほのかな香りが漂ってきた。香りの主はこの暑さにもめげず土手のあちこちで咲く大輪のヤマユリの花だ。よく目立つ六本の赤い雄しべは自由自在に揺れ、花を訪れるアゲハチョウに花粉をくっつけ、他の花に触れると受粉をする。土手の中腹を見ると数本が固まって咲き、ユリ独特の芳香が漂ってきた。一輪一輪も美しいがこうして群生して咲いているヤマユリは、里山の夏を彩るにふさわしくそれぞれが美しさを競っているようであった。ヤマユリは、日本特産のユリで花も背丈も大きく目立ち、神奈川県県の県花として親しまれている素晴らしい花である。夏空に美しく映えるヤマユリを是非見に来てほしい。(吉田)



## 県の花 来月の見どころ